

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 6 日作成)

委員会名	居住性能評価指針改定WG	主 査 名：石川孝重
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(企画刊行小委員会)	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	設置目的：「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説」の改定に際して、 具体的改定作業を進める傘下の3SWGの改定内容を統括し、環境振動小委員会 との調整をはかる。 2003 年度活動計画：傘下の各SWGで検討した改定内容について統括し、環境振 動小委員会との調整をはかった。2003 年度末までに同指針の改定版を刊行する予 定である。	
委員構成 (委員名(所属))	主査 石川孝重(日本女子大学) 幹事 塩谷清人(九州大学) 委員 大熊武司(神奈川大学), 榊田 裕(神戸芸術工科大学), 後藤剛史(法政大学), 田村幸雄(東京工芸大学), 中村 修(風工学研究所), 野田千津子(日本女子大 学), 横山 裕(東京工業大学)	
設置WG (WG名:目的)	床振動評価SWG:人間の動作・設備による床の鉛直振動の評価に関する具体的改定内容 を検討し,改定案を作成する 風振動評価SWG:風による水平振動の評価に関する具体的改定内容を検討し,改定案を 作成する 交通振動評価SWG:交通による鉛直・水平振動の評価に関する内容を検討し,指針案を 作成する	
2003 年度予算	130,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	8月8日 主査他6名 (環境振動小委員会の下に設置した居住性能評価WGと委員が同一であるため、 合同で委員会を開催した。その他は、文書、メール等による議論を活用した)
得られた成果	(成果の具体的内容,成果の学術的・技術的・社会的価値,ホームページ等での公開の有無) 具体的改定作業を進めている傘下の各SWGで検討した改定内容,指針全体とし ての統一などに関して調整をはかり,改定作業を終了した。特に、環境振動小委 員会委員を中心とした内部査読システムを新たに導入し、委員会内での議論を活 性化した。また、環境工学委員会のアカデミックスタンダードとして位置づける ために、パブリックコメントを募集するなど、広く会員の意見を反映することも 試みた。12月末からは本WGを中心に具体的編集・出版作業に入っており、2003 年度末に改定版を刊行し、2004年度5月に同指針改定版に基づいた講習会を開催 する予定で計画を進めている。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の予定どおり、本年度末に「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解 説」の改定版を刊行する見込みである。改定作業中においても、特に、環境振動 小委員会委員への査読システムの導入やアカデミックスタンダードとして位置 づけるためのパブリックコメント募集などを計画実行し、学会指針としての位置 づけの確立をはかったことは評価できるものと考えている。
その他評価すべき 事項	